

令和6年3月

No.145

OKAZAKI COMMUNITY SPORTS MAGAZINE

スポーツ推進だより



も

令和5年度西三河地区スポーツ推進委員実技研修会 2

く

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会 3

じ

第38回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会 4～5

エリアリポート【夏山学区・男川学区・北野学区】 6

第71回東海四県スポーツ推進委員研究大会 7

令和5年度岡崎市スポーツ推進委員研修会 8

岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会

令和5年度西三河地区スポーツ推進委員実技研修会

大門学区 甲斐 誠

今回、初めてEボートを体験させていただきました。

例年、三好市では11月に寒空のもとEボート交流会を行っているそうですが、当日は最高気温25度と夏日であり池の近くであっても、真夏を思わせる雰囲気でした。

研修では三好市ボート協会のご指導のもと、体験を行いました。EボートのEにはExchange・Eco-life等の意味合いがあり、全国的にも防災活動や地域活動に活用され、特に三好市では40近くの池を有しており、地域の特色を生かし多くの方に親しまれている乗り物だと感じる事が出来ました。

実際のボートは、定員10名、全長6.5mと大変大きく、初めは10人の呼吸が合わず、一方向に進路が偏ってしまい修正も儘ならない状態でしたが、声を出しながらパドルを漕ぐ事で、初見の方ばかりでしたが最後にはゆっくりではありますがボートをコントロール出来るまでとなりました。

この研修を通じ、Eボートは地域の中で交流を深める道具ではありますが、豪雨などの自然災害でも活躍出来る有益な物だと感じる事が出来ました。



講習会を通して

男川学区 稲葉 雅知

今回は午後の部で講習会を取り入れた実技研修会となりました。

目的として、生涯スポーツの推進者、指導者として、地域の期待に応じるため、実技指導方法の研修を通して資質の向上を図る。という内容の講習会でした。

第一部では、地域スポーツへの期待と題した講習でした。スポーツで人々の交流、コミュニケーションを促進し、地域住民を1つに結びつける働きなどを学び、また総合型地域スポーツクラブの取り組みの話を聞き、大変勉強になりました。スポーツを通して健康及び地域の活性化を目指して実践していきたいと感じました。

第二部ではレクリエーションスポーツ緊張をほぐす運動（その場で出来る）をレクチャーしてもらい、大変楽しい実技でありました。参加された推進委員も素晴らしい笑顔で本当に楽しみながらまた思い通りに手足が動かなく笑いながら実技を行い、なかなか体が思うように動かなかった事も実感しました。特にグーパ実技では本当に難しく、緊張をほぐされながら楽しい実技でした。この研修会で得た事を学区に持ち帰り実践していき、色々な研修会に参加し学んでいきたいと思います。

またスポーツを通じて皆様が笑顔と健康でいられるように頑張っていきます。



第64回 全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会

北野学区 重森 誠一

令和5年度全国スポーツ推進委員研究協議会が11月16日(木)・17日(金)の2日間青森県青森市のリンクステーションホール青森で開催されました。岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会からは杉山会長他役員8名で参加してまいりました。

今年度は「**スポーツで煌めく笑顔のために**」～青い森から縄文の風に乗って全国へ～をメインテーマに掲げ、全国各地から2,800名を超える参加者を迎えて盛大な研究協議会となりました。

メイン会場となったリンクステーションホール青森では開会式、表彰式に続き、オリンピック4大会(アテネ・北京・ロンドン・リオ)連続出場で世界選手権女子マラソン銅メダリストの福士 加代子さんが「笑って走れば福来たる～私が笑顔で走り続けてきた理由～」を演題に講演をされました。自分自身、福士さんがワコール時代に日本選手権大会で10,000mを走っている姿をテレビで拝見して興味を持っていた事もあり、関心を持って講演を聞く事ができました。講演の中で福士さんが「何でもいいので経験してほしい」・「見るのとやるのでは大違い」・「実体験が大切!」と言っており確かにその通りだなあと感じました。講演も最初から最後まで笑いの絶えない講演で会場内もかなり盛り上がっていました。



次に、「コロナ禍を超えたコミュニティスポーツの新しいかたち」をテーマに、北海道教育大学教授 石澤 信弘コーディネーターの下、シンポジウムが行われていました。地域の運動やスポーツ活動は個別化が進み、スポーツとコミュニティとの関係性が希薄化したといわれる今、変容しつつある地域スポーツの仕組みをめぐる課題や期待されるライフスタイルなどについて意見交換が行われました。

2日目は、第1分科会に参加し、「スポーツが高齢社会で実現できること」をテーマに、新潟大学人文社会教育科学系 准教授 村山 敏夫コーディネーターの下、第1分科会が行われました。高齢社会の中で人との関わりが希薄になっている時代だからこそスポーツの存在が大切になってくるのではないかと感じました。これからを生きる人たちに、スポーツの中でこそ味わえる経験を、沢山の出会いをし、人生に変化と面白みを加えてほしいという思いが伝わってくる時間となりました。



今回、全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会に参加して学んだ事は、スポーツ推進委員の今後の役割や地域におけるスポーツ活動を推進するうえで必要な事、特に子どもから高齢者までが楽しめるスポーツの推進に貢献していき地域の皆様のお役に立てるスポーツ推進委員を目指して頑張っていきたいと思っています。

第38回 岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会

六ツ美北部学区 佐藤 義美

令和5年12月3日(日)に岡崎市中心総合公園の総合体育館にて「第38回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会」が開催されました。

ソフトミニバレーボールは岡崎市発祥のスポーツであり、基本はバレーボールと同じですが、円周80cmの軽いゴム製ボールを使用するため、老若男女どなたでも安全に楽しめるスポーツです。

また競技者は4人で同じ人が2度ボールに触れる事は出来ず、必ず3回で相手コートに返す必要があります。よってチーム全員で協力しあう必要がある競技となっています。

今回は総勢63チーム（女性の部31チーム・混合の部32チーム）のご参加があり、毎年ご参加されているチームが多く見られましたが、ご参加経験の少ないチームもあり、少し緊張した表情も見られました。しかしながら試合開始前はどのチームも自信満々の表情で、優勝を目指す意気込みが感じられました。

また会場は選手以外にも地域の方々、ご家族、ご友人など多くの方にお越しいただき、大会が大変盛大に開催出来た事に深く感謝申し上げます。

さていよいよ午前9時30分に一斉に試合が開始され、各チームともまずは予選リーグ突破を目指し日頃の練習の成果を見せる対戦となりました。

予選リーグは1位にならないければ決勝トーナメントに出場出来ず、まさにチーム全員で1勝するために奮闘する姿が見られました。

決勝トーナメントではさすがに予選リーグを突破した実力のあるチームで力が拮抗しており、負ければ敗退となるため、さらに白熱した対戦となりました。ミスをした時に円陣を組んで気合を入れなおす場面もみられ、まさに一球入魂の気迫が感じとれた瞬間でした。

また、両チームともベテラン選手が中心となり、戦術や戦略を駆使してチーム一丸となって対戦に臨んでおり、奥が深い競技でもありました。

さらに、ファインプレーや惜しいプレーなどがあった場合も、控え選手や観戦スタンドから選手への気迫を更に盛り上げる応援コールがあり会場全体でも盛り上がりを感じました。

しかしながら試合が終わると勝利したチーム、敗退したチームとも、試合中と違い和やかな笑みを浮かべ、お互いの健闘を称える場面もあり、「やりきった、楽しめた」表情がすごく印象に残りました。



今大会を制覇した優勝チームは、女性の部：『六ツ美西部学区A』、混合の部：『梅園学区A』となりました。
優勝おめでとうございます。

競技であるため勝敗がつく事にはなりますが、お互いに楽しむ事が重要であり、また地域コミュニティの形成が出来る学区交歓大会という点において、選手の皆様も来場された関係者様も非常に有意義な1日になったかと思えます。

各学区でも盛んに開催されている競技ですので、まだ経験したことのない方は是非ご参加していただき地域コミュニティの輪に飛び込んでみてください。

最後に今大会にご参加の選手の皆様、白熱した対戦を繰り広げていただき有難うございました。大変お疲れ様でした。

来年度はスポーツフェスティバル2024での開催となりますが、今大会以上の盛大な大会が開催出来ます様に引き続き沢山のご参加とご協力をお願いいたします。



夏山学区 ボッチャ大会

柴田 成夫

令和6年1月28日(日)、夏山小学校体育館にて第3回夏山学区ボッチャ大会が開催されました。

大会当日は園児・小学生から80歳代までの総員33名の参加があり、6チームに分かれて総当たり戦を繰り広げました。中には初心者も6名ほどいましたが、皆様笑顔が絶えないくらい大いに盛り上がりしました。

夏山学区では毎年、このように年間行事として5種目の大会と体験会1回を開催しております。これからも地域への生涯スポーツの普及と地域活性化活動として継続していきます。



男川学区 インディアカ

稲葉 雅知

男川学区での活動報告をさせていただきます。令和6年1月28日(日)は男川学区こどもの家にて男川学区新春スポーツ大会を開催しインディアカを行いました。

大人20名、子ども10名の参加者が集いました。寒い中でも競技を行うにつれて上着を脱ぎ一生懸命に羽根を追いかける姿、真剣な顔や笑顔の参加者を見ているとスポーツ活動を通じて繋がりを感しました。また、小さいお子さんにも参加してもらい、体を動かす楽しさ、大人と混じって行う楽しさを感じてもらいました。

今後も色々なスポーツ活動を通じて団結出来たらと思います。



北野学区 歩け歩け大会

松尾 春美

北野学区では令和6年1月28日(日)、第35回学区歩け歩け大会を開催しました。

北野小学校から家下川河川敷を通り日名橋公園グランドまで歩きます。朝早く寒い中ではありましたが天気にも恵まれ、大人41名子ども20名の参加者の皆様が元気に出発。公園グランドでは、ペタンク、輪投げ、的当て、モルック、グランドゴルフのホールインワンゲーム、PK、けん玉、ジャンケンゲーム、なぞなぞなど、9つのアトラクションを用意し、5個以上クリアで景品ゲットなど、ただ歩くだけではなく子どもから大人まで幅広い年齢の方に楽しんでもらえるイベントになりました。また暖かい飲み物やおにぎり、コロケ等もお配りし、家で食べるより美味しく感じるといった方もみえ、帰ってきた姿も、楽しんでくれたかなと思える表情に感じました。

こういった地域での行事も参加してみると楽しめるという事を沢山の人の人に知ってもらいたいと思いました。



第71回 東海四県スポーツ推進委員研究大会

根石学区 倉地 祐二

令和6年2月9日(金)・10日(土)に第71回東海四県スポーツ推進委員研究大会静岡大会が、グランシップ(静岡市)を会場に、愛知・岐阜・三重・静岡の各県より総勢1,971人のスポーツ推進委員が一堂に会して行われました。会場は熱気に満ち溢れ、我が岡崎市からも杉山会長をはじめ23名が参加しました。地域における生涯スポーツ推進の実践活動について、研究を発表し、スポーツ推進委員としての資質の向上を図り、参加者が相互に意見交換を行う場として毎年開催していた本大会です。昨今のコロナは5類に移行されましたが、まだまだ感染者が発生するといった中、感染予防を万全にして、この第71回大会が開催となりました。

大会の様子

開会式に続き、東海四県功労者表彰、20年表彰、団体表彰、中ブロック表彰があり、東海四県功労者表彰で戸松 裕さん(美合学区)が表彰され、団体表彰において岡崎市が表彰されました。続いてアトラクションとして静岡城内一輪車クラブブルーリボンによる一輪車を乗りながらのダンスを鑑賞しました。静岡城内一輪車クラブは全国的にも大変有名で国内外の大会で優勝やメダル獲得を果たされています。様々なコンビネーションで息の合ったダンスは、とても一輪車に乗っていると思えないほど、優雅で素晴らしかったです。



次に、北京パラリンピック大会メダリストで義足プロアスリート 山本 篤さんをお招きし「挑戦」と題して講演会が行われました。ご自身の生い立ちから義足になった経験を踏まえ、義足との出会いから陸上競技アスリートとしての専門的な理論やトレーニングを積上げ一流のアスリートとして、またメダリストとしての自分への挑戦を講話していただき、スポーツをする事の大切さなどとても参考になる貴重なお話を聞く事ができました。



次に事例報告として、浜松市の「新たなスポーツスタイル確立に向けた取り組み～スポーツ文化都市実現に向けて！どうする浜松～」、そして藤枝市の「スポーツを楽しみ、ふじえだの未来を創る～スポーツを通して生き生き健やかに暮らすまちの実現を目指します～」、伊豆の国市の「〇〇だけじゃないモルック～みる・ふれる・はぐくむ 五感で感じるスポーツ～」、袋井市の「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことのできるスポーツ文化の推進～日本一 健康文化都市の実現に向けて～」といった、4市のスポーツ推進委員による研究発表がありました。

中でも、浜松市は室内でも出来るモルックの道具作り方やスポーツ婚活などの説明をされ、室内でもモルックが出来るようにとペーパーの芯を活用したりサイクル道具作りや、スポーツ婚活では全国から参加できるようにとインターネットで応募を募り、リピーターからのクチコミで年々参加者が増加しているとの事で、街の活性化に努力されている事が素晴らしいと感じました。「まずは、スポーツを通じて協力し合う事でお互いを知り、カップルが成立する」との事で、他県の参加者からの質疑も大変興味を持ったイベントであったと感じ、高齢化を防止する、街を活性させる施策のひとつと感じ、とてもためになる研究発表でありました。

令和5年度岡崎市スポーツ推進委員研修会

広幡学区 徳富 稔

令和6年2月24日(土)に、岡崎市体育館にてスポーツ推進委員として必要な知識・技能を修得し、岡崎市のスポーツ普及・発展に寄与する事を目的とし、スポーツ推進委員相互の親睦を図るといった趣旨で「岡崎市スポーツ推進委員研修会」が開催され、普段各種スポーツイベントや学区での大会運営に携わっている推進委員が、体験する側となり研修会に参加しました。

今回の研修では「ウッドカーリング」「ドッジビー」「ディスクゴルフ」という、3種目を体験し、どの競技も開始前は運動量少ないだろうと感じていましたが、いざ競技が始まると、爽やかな汗をかく事ができたと共に、久しぶりに体を動かす事で心身ともにリフレッシュする事ができました。私自身、初めて経験するスポーツばかりでしたが、それぞれの種目ごとのルールを知り、狙いを実際に体験する事で競技について理解が深まり、貴重な機会を得られたと思います。

また参加された推進委員の皆様の笑顔や真剣な眼差しで目の前の競技に打ち込む姿を見る事ができ、改めてスポーツの素晴らしさを感じる事ができました。

どのイベントにも共通して言える事ですが、開催にあたり役員の方々、市職員の方々、推進委員の皆様が個々の貴重な時間を割いて準備・計画を綿密に行なう事で、スムーズに運営できている事に感謝すると共に、参加者目線に立ち年齢・性別を問わず多くの方々に継続して取り組んでもらえるスポーツを紹介する事で、今まで「運動に対し無関心な人にも関心を持ってもらう」事、また近年「子どもの体力低下」が問題視される中、親子で楽しみながら参加していただきコミュニケーションの充実を図ると共に、幅広い年齢層の体力向上に繋がる良いきっかけ作りになればと感じています。

私自身、推進委員1年目ということで、ここ数年のコロナ禍での活動状況を把握できていませんが、影響もひとまず落ち着いた状況となったので、今後より一層岡崎市のスポーツ活動が盛り上がるよう、今後も推進活動に参画し、一人でも多くの市民の方々の健康の保持増進に寄与できるよう、活動へのサポートを続けたいと思います。



ウッドカーリング



ウッドカーリング



ドッジビー



ドッジビー



ディスクゴルフ



ディスクゴルフ

発行 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会

編集 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会 広報・事業部

事務局 岡崎市社会文化部スポーツ振興課 (TEL: 23-6363)

H P <https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1556/281500/p021076.html>

